

2021年4月28日

生活協同組合パルシステム東京様

ペシャワール会

2002年9月のご支援以来、長きに亘り当会のアフガニスタンにおける支援活動にご理解と多大なるご援助を賜りまして、ありがたく厚く御礼申し上げます。

ペシャワール会は1983年の結成以来、中村哲医師の活動を支援して参りました。現在も中村医師が設立したPMS（ピース・ジャパン・メディカル・サービス）のもと現地での医療・灌漑・農業事業を継続して支援しています。アフガニスタンでの干ばつが進行する中、2003年から着工した総合的農村復興計画「緑の大地計画」により、16,500haの耕地を安定灌漑し、65万人の農民の生活が維持されています。2019年12月4日の中村医師の逝去後も、アフガニスタンにおける現地PMSの活動は、変わることなく続いています。今後もペシャワール会は全力で現地を支えて参りますので、末永いご支援をよろしくお願い申し上げます。

お寄せいただきました組合員皆様からの平和カンパ2,500,573円はPMSの活動に有効に使わせていただきましたことをご報告しますとともに深く感謝申し上げます。

2020年度の現地プロジェクトは以下の通りです。

#### 《2020年度プロジェクト報告》

##### 1. 医療事業

2020年度は前年度に引き続き、PMSのアフガニスタン東部山岳地区ダラエヌールの診療所で、24時間対応できる診療体制を維持しています。1991年に開設されたこの診療所では、一般診療に加え母子保健向上のため女性職員による妊産婦の保健指導、ワクチン接種や結核治療も進められています。地域に根ざした診療活動は、住民からの信頼を集めています。（年間診療数約5万人）

アフガニスタンにおいても新型コロナウイルスがまん延する中、ダラエヌール診療所では医療従事者による衛生指導を積極的に行なうなど、地域の感染拡大防止対策を講じています。

##### 2. 灌漑事業

2020年度は以下の事業を手がけました。

〈マルワリードI堰・用水路改修〉

2019年度に引き続き4年計画でマルワリードI堰・用水路（全長27km）の改修工事を実施しています。2003年から2010年にかけて完工したこの水利設備を改良するため、取水門門口の増設と堰の改修（土砂吐きの設置）、用水路の部分的拡幅と床面の再ライニング（水路床覆工）、洪水通過部の拡張などを予定しています。今年度は用水路約5km地点までのライニングを行なったほか、安定した取水維持のため、経年により堆積していた土砂の浚渫を全線にわたり実施しました。同流域では耕作地が広がっています。

#### 〈マルワリードⅡ堰・用水路建設〉

2016年に着工したマルワリードⅡ堰事業が2020年12月に完工しました。この事業により860haにわたり約3万人の生活が保障されます。排水路を整備し給水と排水を分離したことにより、湿地が減少し耕作地として利用出来る土地が拡大しています。マルワリードⅡ堰流域では麦畑が広がり、昨年度は地域では初となるスイカが大量に収穫されたほか、今年度通水した延長用水路沿いにはトウモロコシ畑が広がっています。

#### 〈バルカシコート堰〉

中村哲医師の逝去後、初めてPMSの職員たちだけで建設する新しいバルカシコート堰が着工されました。2020年12月に開始し、取水門と土砂吐きを建設、3月には遮水壁を切り通水を開始しています。230haに及ぶ地域の安定灌漑に向け2年計画で2022年の完工を目指します。

### 3. 農業事業

試験農場としてマルワリードⅠ用水路最終地点のガンベリ沙漠に約230haを確保し、農業生産を行なっています。そのうち3分の1の土地で穀類や野菜、果樹を中心に様々な栽培が試みられております。2020年度末にはガンベリ農場の未開拓地の開墾が始まり、約6,600本のレモンを植樹しました。

2019年4月から開始した養蜂事業は順調に継続されています。PMS農場20haに植えられたオレンジ約2万5千本は今後農業事業の大きな要となることが期待されます。2019年度の来日時に農業試験場で実地研修をした柑橘類の剪定を実施することにより、果実は大きくなり色もよくなったと現地から報告が届いています。

植樹は120万本になり、大地を緑にし、荒々しい気候変動を少しでも和らげる役割を果たしています。

### 4. 今後の活動に向けて

中村哲医師の逝去後、ペシャワール会とPMSは中村医師が実践してきた事業は全て継続し、彼の希望は全て引き継ぐと決意し、村上優会長がPMS総院長に就任しました。堰や用水路などの建設に関しては、日本側の技術支援チームと連携をとりながら慎重に事業を進めています。

今後はこれまで以上に日本とアフガニスタンの連絡を強化し、医療・農業・灌漑事業を継続するとともに、中村医師が今後予定していた事業の実現に向けて支援をしていきます。

アフガニスタン全土では現在もなお、干ばつが進行し、昨年からは新型コロナウイルスもまん延しています。PMSの活動が地域の人々に希望をもたらすこととなるように、2021年度も引続き医療、および用水路建設、農業、人々の安定した生活を保障するための活動を継続して参ります。